

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成 28 年 11 月 7 日（月）
 現地視察後 全員協議会室
 9 時 00 分 ～ 14 時 47 分

【委 員】 笹田委員長、飛野副委員長
 串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】 柳楽、小川、芦谷、佐々木、江角

【議長団】 議長

【執行部】

（産業経済部） 中村産業経済部長、田村産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、竹中産業振興課長、井上ふるさと寄附推進室長、佐々木広島市場開拓室長、川神農林振興課長（併農委事務局長）、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部） 下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、西川建設庶務係長

（金城支所） 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

（旭支所） 田村旭支所長、今田旭支所産業建設課長

（弥栄支所） 細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

（三隅支所） 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

1. 執行部報告事項

- (1) クラウドファンディング活用セミナーについて
- (2) はまだ創業カレッジ 2016 について
- (3) ブランディング実践セミナーについて
- (4) ふるさと寄附について
- (5) 漁業別水揚げについて
- (6) 第 2 回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンの実施について
- (7) 島根あさひ社会復帰促進センターの現況について
- (8) 浜田市林業地域給水施設小坂地区水道取水場ポンプ修繕について

(9) 施設の所管換え及び指定期間の変更について

(10) 市道路線等の現地視察について

(11) その他

2. その他

【議事の経過】

[9 時 00 分 開議（東分庁舎前駐車場）]

笹田委員長

おはようございます。

ただいま出席委員は7名で、全員出席ですので、直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、委員の皆様、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。

本日の調査会では、これから11時35分頃まで、議題1の（10）市道路線等の現地視察を、「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、13時00分より議会全員協議会室において調査会を再開し、報告・説明を受ける予定です。

以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。

（なし）

それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしくをお願いします。

（3ヶ所現地視察）

[視察終了 11 時 25 分]

[帰庁後、12 時 57 分 再開]

笹田委員長

開始時間より早いですが皆さんお揃いのようなので始めたいと思います。

調査会を再開する前に10月の異動で、井上ふるさと寄附推進室長が来られましたので一言ご挨拶をお願いします。

ふるさと寄附推進室長

（ 挨拶 ）

笹田委員長

ありがとうございました、今後ともよろしくお願いします。

それでは産業建設調査会を再開いたします。本日は農林振興課長が欠席と聞いています。

1. 執行部報告事項

（1）クラウドファンディング活用セミナーについて

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

（ 以下、資料をもとに説明 ）

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

布施委員

基本的なことかもしれませんが1つ確認しておきたいと思います。クラウドファンディングは最近注目の資金調達方法だと認識しています。起業される方が目標金額に到達する前や調達期間の途中でも成り立つのか、中断はできないものなのか伺います。

産業政策課長

基本は目標金額を設定し、それに届かなかった場合はその時点で事業は無くなるパターンが多いそうです。

布施委員

ということはそこまで賛同された方には返すという意味ですね。

産業政策課長

このセミナーを通じてご説明がありました。ここで言えばサイバーエージェントクラウドファンディング様が間に入りますが、そこがまず

笹田委員長

資金集めを担われて、それが集まらなかったら会社が各出資者にお返しするとお聞きしています。

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(2) はまだ創業カレッジ2016について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(3) ブランディング実践セミナーについて

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

三越、伊勢丹といえば百貨店でもトップランクだと思います。応募が伸び悩んでいるのは、告知の仕方等が足りてないのではないかという気がします。水産加工業にしても数十社あるので、マッチングがあるような気がします。そんなことはないですか。30社募集して9社しかないという数字の乖離にはどういう所に原因があるのでしょうか。

産業政策課長

あと2週間ありますので、ご指摘を真摯に受け止めて更に水産加工業始め様々な業種に対して告知等をしていきたいと思えます。

牛尾昭委員

30社募集して9社しか応募がないというのは、告知の仕方やアプローチに問題があるのではないかという気がするわけです。例えばFacebookでも江津の白川さんが事務局をしている石見の何とかというのが頻繁に、今日は横浜紀伊国屋でやるとか更新しています。僕は去年か一昨年出張に行ってFacebookを開いたら、ちょうど来週からやるので出来れば紀伊国屋に寄って挨拶してもらえないだろうかと言われて、広報委員会でちょうど鎌倉に出張中だったのだけどわざわざ数名の議員で行って、その社員に会って、来週から地元がお世話になりますどうぞよろしくお願い致しますという話までしてきました。

産業政策課長

そのように熱心におやりになっている所がある一方で、30のうち9って3分の1以下じゃないですか。何かどこかに問題があるような気がするんですが。あと2週間もあると仰るが2週間しかないという考え方もあります。12月議会で実は30社越えましたといった報告があるなら良いけど、今のままであまり増えなかったというのであればどこかに問題があるのだろうと思います。まだ間に合うので、告知の仕方すり合わせ等々、是非頑張ってくださいと思いますがいかがでしょうか。

笹田委員長

再度関係機関へ周知すると共に、色んな方の目に触れるようにメールマガジンや歩いて啓発を図っていききたいと思えます。

牛尾昭委員は今まではどうだったのかをまずお聞きしているので、どういった周知をされたのでしょうか。

産業政策課長 周知につきましては、商工団体の会報等に挟んでいただいたり、あるいはメールマガジン等に載せています。

笹田委員長 よろしいですか、はい。その他何かありますか。
 (「なし」という声あり)
 ではこの件については以上とします。

(4) ふるさと寄附について

笹田委員長 執行部から説明をお願いします。ふるさと寄附推進室長。

ふるさと寄附推進室長 (以下、資料をもとに説明)

笹田委員長 この件について、委員から何かありますか。布施委員。

布施委員 P R イベントご苦労さまでした。これのお陰で増えたという認識はあまりありませんが、P R としては絶好の機会だったと思います。今の報告の中で、大阪会場・横浜会場、寄附121件147万と136件257万とありますが、折角全国28自治体が参加されているので、他自治体から勉強する所があったと思います。他県のP R 方法、寄付額と比べて当市は多かったのか少なかったのかについても我々は聞きたいのです。何故かという点と依然としてふるさとチョイスのランキングでは浜田市は非常に高い位置です。こういったP R 会場においても高い位置だと思えますが、浜田の数字しか書いてないので比べようがありません。そこから次の展開やリピーター確保等色んな学ぶべき工夫が各自治体にあったと思います。そういったことをご報告願えませんか。

ふるさと寄附推進室長 今は各自治体さんの資料がありませんので、また調べた上で回答させていただきます。

布施委員 根本的に数字は分からなくても、雰囲気的に自分たちと比べて他自治体のP R の仕方は。室長行かれたんですね。

ふるさと寄附推進室長 行っていません。

布施委員 分かる方おられませんか。その辺の雰囲気を聞きたいんですよ。

産業振興課長 我々9月10、11日の大阪会場の感謝祭に参加させていただきました。こちらとしては出来るだけ試食をしながら感謝をする意味で誘導を図っていますが、ほとんどどこも感謝祭の意味合いから、地域の産物を試食という形で出して大行列が出来ていました。我々もノドグロを中心に行ったところかなりの行列が出来たとのことで、その点は同じだと思っています。10月の横浜は私は対応していませんが、こちらは逆に一般の人が多いこともあり試食なしで対応を行ったと聞いています。

布施委員 食のまちである大阪で試食P R をしたのは理にかなったやり方だと思います。横浜会場では試食はないけど一般の人が多いということで、初めて浜田市のブースを見てやってみようかという思いが直接伝わったと思います。ネットと違ってこうしたイベントでは金銭のやりとりが目に見えます。物の売買はそこが一番大事で、目に見えることで人に伝わってファンが増えていく、これは物を売る時の基本です。ふるさと寄附は全国的にやっているのだから、浜田市だけの年比較ではなく全国に先駆けて人気のある浜田市はこのようなやっているということを見せないと次に繋がらないと、私は常々思っています。先進地事例も充分勉強されて去年は20億円突破しました、それで注目されて今があるわけですから、P

Rする時にはPRの先進地になるように勉強して欲しいです。それで来年度以降に繋がっていくと思います。それが地元業者に代わって行政がやれるPRではないかと思います。それについて何かご意見があればお願いします。

ふるさと寄附推進室長 全国他市の事例等を調べて、参考に出来るものは参考にして今後のPRに取り組みたいと思います。

笹田委員長 その他。飛野委員。

飛野委員 イベントにおいて寄附を会場で受けられたとのことでした。大阪会場では単純計算で1件あたり1万2000円とのことですが、会場での寄附とは通常のふるさと寄附を会場で受け付けたのですか、それとも現金でいただいたわけではないのでしょうか。

ふるさと寄附推進室長 これは現金を持参してその場でご寄附いただいた方もいますが、その場にパソコンを持ち込んでネット経由で寄附の受付をさせていただきました。

飛野委員 現金で受けたのはふるさと寄附の様式ではなく、現金での寄附として受けたということでしょうか。

ふるさと寄附推進室長 これについてはふるさと寄附ということで、市の職員が出納員として受け取ります。

飛野委員 きちんと返礼品からそういう手続きをするという流れの受付があったということですね。ではそれで理解しました。単純計算で1人1万2000円程度、多い方も少ない方もおられると思いますが、大口というのもあるのでしょうか。

ふるさと寄附推進室長 横浜の事例ですが、1件20万年程の寄附をされた方がいると伺っています。

飛野委員 はい。もう1点伺いますが、この報告書を見て勘違いしたんですが、寄附額は6億円で前年比90パーセントに回復と頭を書いてあります。よく見れば月の数値ではないかと。この書き方は本当を言えば20億円に対して6億円なので今30パーセント程ですよね。30パーセントくらいに回復して頑張っているという部分を表に出さないといけないと思ったんですが私の間違いでしょうか。

ふるさと寄附推進室長 これについては月々の取組みで90パーセントまで回復したと記載させていただきました。現在の累計については65パーセント程度にまで回復しています。

飛野委員 単月でしょう。去年が20億円で、それが90パーセント回復と聞いたら下手をしたら安心してしまう。私以外にも勘違いをされた議員が居ました。どちらが良いとは言いませんが、その方が間違いはないのではと思います。

笹田委員長 その他ありますか。原田委員。

原田委員 今、カタログに掲載されている特産品は何点ぐらいになっているのかと、寄附いただいた方への商品発送はどのくらいの日数がかかるのか、代金支払いについては今どのくらいの間隔になっているのか、お聞かせいただけますか。

ふるさと寄附推進室長 現在の特産品数はおよそ300点程になっています。配送については配送日を指定いただいている物は指定日に送るようにしています。代金に

については商品の発送が終わってから事業者の皆さまから提供いただくことになっているので、請求をいただければ速やかにお支払いするよう心がけています。

笹田委員長

配送日の指定がない物は、どのくらいの日数がかかりますか。

ふるさと寄附推進室長

物によりますが、準備でき次第順次発送となっています。

原田委員

聞く所によると業者とのトラブルと言うか色んな問題点があるように聞いています。何がどうだったのかは我々全く分かりませんので、業者さん等から訴えられても答えようがないです。調査会には、そういった問題点があるなら報告が必要ではないかと思うんですが、その辺が事実かどうか我々も分かりませんし聞かれても答えようがないんですよね。その辺をどのように考えておられるのかお聞きしたいと思います。

ふるさと寄附推進室長

業者の方とのトラブルは聞いていませんが、配送にかかる苦情や、寄付をしていただいた方からの苦情は上がってくる場合がありますので、それらは業者に対応をお願いしたりこちらで対応したりしています。

笹田委員長

トラブルは今の所、市と業者さんの間では無いという認識でよろしいですね。

原田委員

トラブルはないということですね。不明瞭な点等について我々は聞いているのですが、その辺は我々も分かりませんので、お叱りの声もあります。この調査会等で報告されるべきことがあるのではないかと思うんですが。再度お聞きします。無ければ結構です。

産業経済部参事

業者との間でトラブルがあるのでは、あるならこの場で報告すべきではという質問ですが、直接業者との間で、ふるさと寄附を運営するにあたっては事業者連携会を中心として綿密に定例会等をもってやっていますが、過去においては対応の仕方にまずい所はあったように承知しています。これについては現在、総務側で調査してもらったりしながら適正に処分しなければならないということで今進められています。内容については私からお答え出来るものはありませんが、これについてはまた必要な機会にきちんと答えなければ、対応していかねばならないと認識しています。

原田委員

これ以上言いませんが、そうしたことがあったのは事実なんですか。

産業経済部参事

不適切な処理があったことは承知しています。

笹田委員長

よろしいですか。その他にありましたら。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

今年になって財務部から産業経済部へ事業が移り、移った途端に金額が下がって問題があると言う方もいらっしゃるんですが、去年がピークだった感じもありますし、全国の自治体が総力上げてやっているのでもうしても今年は落ちるだろうと。春先の熊本の件で国民の目が向いたのもやむを得ないと思っています。

色々聞くと、例えば去年のふるさと寄附の関係で、おたくの商品が良かったから是非この枠とは別にお中元や歳暮で使いたいという話もあって、複数の業者によっては別ルートで買い注文が入って大変ありがたいと言っておられる方もおられます。

それはそれとしてこの出し方ですが、例えば去年は何月末は全国で何位になりましたとランキングの話ばかりでしたよ。今年になってふるさとチョイスのランキングの話が1回も出たことないですね。出したくない

のは分かるけど、ふるさとチョイスがメインでしょう。去年の10月末頃には多分7、8位とか10位とかでした。今年の10月末のランキングはどうか素朴に知りたいです。分かっていると思うのでお願いします。

ふるさと寄附推進室長 ランキングについては現在把握しておりませんので、トラストマークさんへ確認したいと思います。

笹田委員長
牛尾昭委員 他の方も把握されてないですか。出てないんですか。

ランキングは出てないんですか。売上が落ちるとランキングを探して順位を報告したくない気持ちは分かるけど、でも結果は結果なんだから。冒頭で言ったようにふるさと寄附は落ちても、去年の実績で実際の売上は伸びたという加工業者さんが居るわけだから、それはそれとして現実を捉える必要があると思います。ですから次の委員会でも良いですから、是非今年は何月でランキングはこうだというくらいは報告して欲しいと思います。

それからリピーター対策の9月9日、10月7日をこの数値に当てはめてみると、リピーター対策が功を奏している感じがします。何故なら9月末が単月で言えば約9割、10月は9割越えているわけでしょう。リピーター対策はシーズンに合わせて効果があるんだろうと思っています。そうすると11、12は数字が集中しています。これについてのリピーター対策はどのようにお考えなのか伺っておきたいと思います。

ふるさと寄附推進室長 リピーター対策については引き続き、月2回程度メルマガを配信して、その中にお得な情報を載せていければと思っています。

牛尾昭委員 それは良いんですが、具体的に、例えば今年はどういうメニューで攻めるとか、去年はクエ鍋が良いとかいう話があったじゃないですか。そういう具体的メニューは現時点ではまだ決まっていないということでしょうか。

ふるさと寄附推進室長 具体的にはまだ決まっていません。

牛尾昭委員 これ真水なので本音を言えば、稼いで欲しいわけですよ。11、12月は掻き入れ時なので。クエって非常に人気があるんですよね。その辺は業者さん側が知恵を出すのだろうけど、少し発破をかけて数字が伸びるように、行政も是非頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

産業経済部参事 仰るとおり、我々も昨年に近い寄附を集めるよう今懸命に頑張っている所です。リピーター対策が非常に力になっていきますし、その効果が徐々に表れてきているのが単月比較でも現れています。今からが掻き入れ時になりますので、鍋特集、お歳暮特集、肉特集等も入れていきながら浜田に寄附が集まるよう懸命に頑張りますのでよろしくお願いします。

笹田委員長 他にありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(5) 漁業別水揚げについて

笹田委員長 執行部から説明をお願いします。水産振興課長。

水産振興課長 (以下、資料をもとに説明)

笹田委員長 この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

串崎委員 順調に行っており60億円のラインもクリア出来そうな感じがします。

比較上で少し気になった点があります。18番の近隣支所58.4パーセントとかなり減っています。今頃聞くのもおかしいですが、近隣支所とはどのような売上貢献になるのでしょうか。

水産振興課長

これは近隣支所から浜田漁港に搬入され、浜田の市場で競りをしたものです。

串崎委員

それが1400万円から800万円に落ちていますが、その要因はどのように判断していますか。

水産振興課長

実はそこまで分析していないのが事実です。近隣支所の全体のパイ自体が浜田漁港の総水揚げに比べたら非常に小さいものです。どちらかと言えば一本釣りとか、少量で取られる魚が近隣支所から来ることが多いですので、その辺の水揚げが減っていたのではないかとこの所です。

笹田委員長

その他ありますか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

今年は春の議会報告会が長浜で、漁港の事を聞かれまして今年は60億行きますと力強く宣言しましたので、行ってもらわないと困るわけですが、10月末でどの程度か荒っぽい所で分かれば教えていただきたいのが1点。2点目は、先ほど課長はどんちっちアジの水揚げの数量と金額を言われましたが、例えば9月末の地元船に限って言えば累計水揚げが5億3900万ですか、地元船以外のどんちっちアジもあると思うけど。今年みたいに4億1000万もどんちっちアジが揚がっているのであれば地元の水揚げに対するどんちっちアジの水揚げに対する売上金額がどのくらいか、面倒かもしれないけど出してもらうと、どんちっちアジの水揚げが地元水揚げの中でどのくらいを占めているのかパッと分かります。そうするとどんちっちアジが揚がらないと巻き網については水揚げが上がらないのは分かるけど、これでは読み取れません。去年より1億多く揚がっているから良いことなんだけど、もう少し中身が読み取れるような資料があると助かります。僕らが外で説明する時に、ただ今年は水揚げが多いんだと言うだけではなく、どんちっちがこれだけ揚がっているからそれが上乘せになっているんだというような説明もできるので。どうでしょうか。

水産振興課長

1点目の10月末の状況ですが、まだ正確には掴んでおりませんが傾向としては、地元巻き網と沖底についてはほぼ前年並みだと思っています。ただ10月に入って外来のイカ釣り漁場が出来ていなかったとのことで、昨年10月は非常にイカが良かったんですが、そこでかなり金額が下がりそうだという情報をJFから聞いています。従って年間水揚げ60億のラインを書いています、10月の状況からいくと今の段階では厳しくなってきたと思っています。

2点目のどんちっちアジですが、全体の水揚げ量が1399トンで、そのうち地元が616トン水揚げされています。それから外来は隠岐の船が497トン、境船団の巻き網が286トンで、地元がほぼ半分くらいを占めています。金額ベースは手元に資料がないのですみません。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(6) 第2回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンの実施について

笹田委員長
観光交流課長
笹田委員長
串崎委員

執行部から説明をお願いします。観光交流課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

去年は144チームと書いてありました。参加料が3500円とか2500円と書いてありますが、去年の収支はどうなっていたんでしょうか。

観光交流課長

参加料の3500円大人1名ということですが、このうち3000円はリレーマラソンを運営する株式会社側で大会運営費に使われています。残り500円は、実行委員会を立ち上げて浜田市が事務局となっておもてなし関係を運営してきました。実績は収支決算で申しますと収入の部が参加料500円と民間企業の協賛金、グルメテントの出店料、浜田市等の補助金を合わせて236万4058円です。支出の部についても消耗品や上位入賞者の賞品の購入費、立て看板、のぼり製作、大会運営に要する経費として収入と同額の236万4058円ということで、収支はゼロです。

串崎委員

ある程度、報告出来るものならきちんと紙に書いて、どのような形になっているのか報告いただいても良いのではと思います。おもてなしの協力とありますが、これはどんな内容ですか。また、申し込み期限が9月30日で既に始まっています。多分このチラシもそれまでに出来ているんだろうと思います。開催日は3月18日でまだ先ですが、多分これ9月議会で報告されても出来るのではないかと。出来ればこれ9月議会に間に合うのではないかなという感じもします。PRはどんな方法でされていますか。

観光交流課長

収支決算書については改めて、次回の産業建設委員会に提出させていただきます。それから9月議会での報告ということですが、その点については大変反省しています。出来るだけ早めに報告なりさせていただきます。それから協賛店の内訳ですが、先ほどおもてなし企画の所で申し上げましたが、宿泊プランについては1回目の大会で市内宿泊施設16施設がプラン提供をしてもらっています。打ち上げプランについては市内飲食店の23施設で取り組んでいただいていますので、第2回についても同様に協力をお願いしたいと思います。

笹田委員長
布施委員

布施委員。

このリレーマラソン2回目になりますが、趣旨は健康増進と浜田港を広くPRして交流人口の拡大と書いてあります。前年144チーム、市内・市外・県外色々だと思いましたが、その割合と一番遠くから来られたチーム数くらいは教えていただきたいと思います。それでこそ県外との交流が出来て、広い意味合いで募集がかけられると思いますので教えてください。

観光交流課長

参加チームの割合ですが、県外が19チームで13.1パーセント、県内が125チームで86.9パーセントです。市内チームが66チームで45.5パーセントです。一番遠いのが埼玉県川越から参加いただいています。

布施委員

実績の収支部分はよく分かったんですが、遠くから来られたチームの前泊・後泊が非常に効果があったのではと思います。リレーマラソンを核として情報発信出来ますが、もちろん市内観光地や石見神楽上演等、色々見せる場があると思います。観光交流課だけの話ではなく浜田市内の魅力について折角遠い所から来ておられるし、市内の方も知らない部

分あるでしょうし、県内でも興味を持ってくださる方がおられるのは、非常に良い情報発信の場だと思います。浜田に行ったらリレー以外にこんなおもてなしをしてもらった、こんな所へ案内してもらった、そういうのが色々な施策に影響してくると思います。交流観光課の方はこれ1つ頑張るのではなく、他部署と横断的に一緒になってPRするチャンスだと思います。2回目3回目やるのはそこを狙いだと思っているんですよ。交流人口を色々なチャンスで増やしていくことが浜田市にとって非常に必要なためにこのイベントを継続されるのだろうと思っていますので、課長の決意をお聞かせください。

観光交流課長

第1回目の開催については1100人を越える参加者があって盛大に開催することが出来ました。浜田市としても交流人口の拡大が最大の目標ですのでこれを継続させていただき、回を重ねるごとにより多くの方に参加いただけるよう、市もそうですが民間の方々と充分協力しながら、この大会を運営していきたいと思っています。

笹田委員長
牛尾昭委員

その他。牛尾昭委員。

去年も問題になったのは500円でケータリングなど出来やしないということで、協賛金集めが大変でした。看板まで全部500円のケータリングの中で用意すると聞いたので。去年はそういう説明ではなかった気がしたので、そこまでするのかと思ったんですが、考えたら1000人でこのイベント会社の懐に入るお金も300万ちょっとです。それで全部そういうことは出来ないだろうからそうなるのかなと、今ふっと思いました。それなら地元の団体がこういうものを立ち上げた方が、市が相当な持ち出しをするわけですから。300万円くらいでやっていただければありがたいなという考え方もあるけど、逆に言えばBB大鍋みたいに地元の青年部やJCあたりがこんなこと出来たら更に活性化するんだろうなと思うんですけど。その辺は、ある程度落ち着くまではメインは外注でも良いからやってもらってお手伝いでおこぼれという感じで行かれるんですかね。

観光交流課長

この運営形態ですが、松江の企画会社の方でまず提案があって開催させていただきました。2回目継続して開催してまいります。先々は出来れば民間の方々を中心に大会運営をしていただき、行政はその支援をさせていただくといい方向が望ましいと思っていますが、現時点ではまだまだそうしたことは非常に難しいと思いますので、少し長いスパンでそういう方向に持っていくように関係者と協議をしながら進めていきたいと思っています。

牛尾昭委員

昨年、会議所の観光部会でこの実行委員会に参加させていただいて一定のお手伝いをさせていただきました。今の話のように将来的に地元でそういうことを企画運営する人が出てくれば、それはそれで企業に繋がる部分もあるのかなと思ったりするし、イベントも数あった方が良いので是非その辺も視野に入れて、該当するような団体があれば育てることも考えながら、観光交流課で頑張りたいと思います。

笹田委員長
原田委員

その他ありますか。原田委員。

先ほどの話では収支はゼロで後ほど資料提出とのことでしたが、これだけの人が来ることは地域活性化にとっても非常に良いことだと思います。おもてなしの企画の中で打ち上げプラン、宿泊プランが考えら

れています。なかなか難しいかもしれませんが、経済効果をどのように考えておられるのか、分かれば教えてください。

観光交流課長

大変申し訳ございませんが、経済効果の数字は現在持ち合わせておりません。ただ、宿泊プランや打ち上げプランの協力店には若干アンケートを取って集計を出しています。金額は出ていませんが、効果があった所となかった所は、だいたい半々のようです。特に中山間地の温泉のご利用はなかったとアンケートから読み取れます。

笹田委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(7) 島根あさひ社会復帰促進センターの現況について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。旭支所産業建設課長。

旭産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

串崎委員

2番目の訓練生の改善についてです。よく見ると「農林水産業における刑務作業の実施」と書いてあります。文章的に、分旭で水産業という書かれ方を不審に思いました。

この「旭町での米作り10名」、今年はどんな内容をされたのか教えてください。

3点目に、職員等の状況に「交流人口の増加数850名」と書いてあります。あまり手を加えなくても人が来る大変素晴らしい状況だと感じています。ここ2、3年の交流人口状況が分かれば教えてもらいたいですし、折角ここにおられるので外貨等を落としてもらえるのか、PRの仕方等をお聞きします。

旭産業建設課長

まず1点目、「地域資源の力を借りての農林水産業」という表現にしていますが、確かに水産には携わっておりませんので、ご指摘のように「農林業における刑務作業」に訂正したいと思います。

2番目の「旭町での米作り」、23年4月から訓練生約10名で実施していますが、これは重富地区で実際に田植えから収穫まで行っている現状です。

「交流人口の増加数」ですが、確かに視察者は件数も人数も減っています。ただ交流人口という面では、面会者数が毎月10件ばかりの増加となっています。南高台という行政区ですが、この皆さんと地元の行政区とのふれあいの場づくりということで、春のウォーキングから南高台祭りを、まちづくり推進委員会とのタイアップで計画されています。バザー等色々な催しもされています。

串崎委員

言われることは分かりますが、折角これだけお見えになるので旭の良い所、まんてん産直市や旭温泉、雪合戦、梨と桃がありますので、来られた方にPRチラシを配ることも出来るのではないかと。ふるさと祭りに刑務所の方も携わっていらっしゃるのでは、旭PRのためにもチラシ配布をやるべきだろうと私は感じていますがどうですか。

旭産業建設課長

PRについてですが、センターのロビーに一応、時期に合わせたチラシを注意して置くようにはしています。面会に来られた方等が結構ご覧

になっておられるようです。ただ、それがどれだけの効果になったかまでは分かりません。チラシは残数を常にチェックして置くようにしています。

串崎委員

折角あまり力を入れなくても交流人口があるので、有効活用していただきたいと思います。

笹田委員長

その他。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

この報告書に欠けているのは、どれくらいの方が社会復帰をされているかの様子が読み取れません。新聞記事では関連企業が増えて受入について読むことがあります。社会復帰促進センターの本来の目的から言えば、そういうことが報告書に載るべきだろうなど。職場の確保が出来ないと再犯に進んでしまうのは誰が考えても当たり前のことなので、そういうこともおやりになっているはず。それなら報告書の最後に触れられていないと、報告書の体をなしていない気がします。どのようにお考えでしょうか。

旭産業建設課長

ご指摘のとおり、そういった点も資料に盛りこめるようにセンターと更に情報交換したいと思います。現在のところは私は把握しておりません。

牛尾昭委員

もしかしたら出所後の情報は出しにくいということがあるかもしれないが、例えば年間20人程度が出所されて10人くらいは無事再就職をされたとか、そういう情報でもあるのならば様子が分かるじゃないですか。センター側がそういう情報を一切お出しにならないならやむを得ないが、しかし協力企業は結構あると新聞には載るわけだから、核心には触れないまでも何らかの形で、次のステップに行かれる殊勝な方がいらっしゃるんだということを是非報告していただくと、明るい情報ですので、出来る範囲で結構ですのでよろしくお願いします。

旭支所長

仰るとおりです。ここは社会復帰に向けたお手伝いをする施設ですので、最終的には皆さんに社会復帰を果たしていただきたいという思いです。これは当然施設もそうですし、誘致した我々自治体も同じ思いです。

毎週10名程度の方は仮釈、あるいは満期、ここは圧倒的に仮釈の方なんですが、その方々を追跡することは基本的に出来ませんので。一昨年だったかここを仮釈された方が再度旭へ帰って来て、意見交換する機会もございましたが、これはなかなかレアケースで全国初の取組みだそうです。施設内には日本で初めて、無料の民間職業紹介所もあったり、今は促進プログラムということで民間企業が優秀な出所後スタッフを集めたいということで、そういう取組みも毎年数社から来られてPRしています。その方々が実際どの程度その企業に進まれたかは我々も把握しておりませんし、情報を出していただけるかどうか分かりません。非常にデリケートな部分もあるとは思いますが、出来るだけ社会復帰に向けたお手伝いが出来るように、色んな形での支援をしていきたいと思っています。出せる数字があれば今後は出していききたいと思います。

笹田委員長

よろしいですか。原田委員。

原田委員

素晴らしい施設だと思います。これは言っても仕方ないのかもしれませんが、定員2000名が今まで埋まったことはないと思います。それだけ犯罪が減っているのか分かりませんが、定員まで埋まるように旭に入れ

ていただくことはできないものでしょうか。

もう1点は、地元の食材が今どれだけ入っているのかが分かれば教えてください。

旭産業建設課長

2000名の定員に対して10月1日時点で1300名と報告させていただきました。実は今年度末で奈良少年刑務所が閉所される予定となっており、そこから80名から100名の訓練生を送ってもらえる話がついていると報告をいただいています。定員割れが犯罪減少の結果とするなら良いことなのかもしれませんが、2000名規模の施設を抱えているので、優秀な訓練生を他所から回してもらえるような取組みも、センター長はどうやらされているみたいなので、期待したいと思います。

食材についてですが……。

旭支所長

1点目について、過去1800数十名まで収容したことがあります。全国で7万人くらい受刑者がいましたが今はそれをはるかに下回っているという状況です。矯正局長へ伺う時には、是非優先的に送ってくれという話を、特に国勢調査のタイミングに合わせてお願いしているのは事実です。

食材について、基本的に今入っているのは米です。どうしても単価的に折り合わないことと、形が揃った物を入所者数分用意しないといけないので、生産地としてそれに見合う体力がないという事情があります。島根県では「島根の日」というのを月1回決めており、その日は必ず島根県の食材が提供されます。その中でどの程度浜田市の物が入っているかはこちらでは把握出来ませんが、そういう形でやっています。基本的に全て対応しているのはお米です。

笹田委員長

その他ありませんか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。1時間経過しましたのでここで休憩を取りたいと思います。前の時計で20分から再開したいと思います。

[14時 14分 休憩]

[14時 20分 再開]

笹田委員長

それでは再開します。

(8) 浜田市林業地域給水施設小坂地区水道取水場ポンプ修繕について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。弥栄支所産業建設課長。

弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

布施委員

現在1台故障しているとのことですが、これは経年劣化なのか寒波など特別な原因があるのか教えてください。

弥栄産業建設課長

この施設は平成16年に作り、2基のポンプもその時からあるものです。もう12年経過しているので経年劣化したものと捉えています。残っている1台もいつ故障してもおかしくないため、今回修理したいということです。

布施委員

故障した時点で直すという考えで良いと思いますが、漏れそうな部分

弥栄産業建設課長 への早めの対応も考えておられますか。

この施設は簡易水道を統合する予定になっています。平成29年4月1日を目途に配管工事をしていいますが、国の補助金等がなかなか付かない現状もあり、少し時間がかかり平成30年以降になろうかと思っています。このように簡易水道への統合が既に予定されているため更新を見送ってきましたが、そうも言っていない状況になりましたので今回修繕ということです。

笹田委員長 その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(9) 施設の所管換え及び指定期間の変更について

笹田委員長 執行部から説明をお願いします。三隅支所産業建設課長。

三隅産業建設課長 (以下、資料をもとに説明)

笹田委員長 説明が終わりましたが、これは議会の議案として上がるとのことなので、議案が上がった時に質疑等していただけたらと思います。それよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(10) 市道路線等の現地視察について

笹田委員長 これについては午前中に視察が終わっています。

(11) その他

笹田委員長 2件聞いています。

島根県及び山口県沖合における掘削調査の終了について

この件について、産業政策課長。

(以下、資料をもとに説明)

産業政策課長 説明が終わりました。委員から何かありますか。飛野委員。

笹田委員長 良いニュースです。先日新聞報道もされて非常に期待しています。これは当初3500メートルまで掘る予定で進んでいたと思いますが、2900メートルで想定外云々ということは、2900メートルまでで目的は果たせたと受け取ってよろしいですか。

飛野委員 そういった質問は多分、市では分からないと思うので。市に関連することをお願いします。

笹田委員長 そのように私は受け止めています。韓国も真横でやっているけど同じような内容ではなかったかなと想定します。市民も非常に期待する中で、将来どうなるかは結果にもよると思いますが、浜田港の利活用に繋がっていく、その時に受け皿としての方針等がもしもあればお聞かせください。

産業政策課長 もし仮にこれが商業ベースに乗る等した場合は、是非利活用していただきたいと思っています。今回の結果について今年度中に評価結果が出るとのことですので、その結果次第で、今後浜田港を使っていただくようなことを経済産業省あるいは国際石油開発帝石様の方へ、要望を行っ

ていく必要はあろうかと思っています。

牛尾昭委員

分かる範囲で教えて欲しいんですが、全国事例でいくと国策でやって相当有望である場合は、国は民間業者を集めて公募をかけてデータを開示して、ガスの掘削を事業化するという形があります。もしも今回ののが有望である場合は、今後どのような移行が予測されるのか、いくつかの事例をもとに掘っておられたら説明していただきたいのですが。

産業政策課長

すみません事例については把握しておりません。国際石油開発帝石のご担当者様の弁ですが、今回は国の委託事業で行いました。今回掘った評価を今年度中に結果としてお出しするそうですが、もしその状況が良い場合はまた2、3年後に評価をするための穴を掘るかもしれない、ということ。その際は国のお金は付かないので、自社でされるか他の方も入れてやるかを今後検討していくとのこと。

牛尾博美委員

鳥取でメタンハイドレードをやられた時にこの例を言ったんですが、鳥取市はこの事業をやる前から、倉庫を貸しましょう市が応援しようとして率先してやっているんですよ。だからこの結果がどう出るかは別にしても、国策だけ安倍さんが萩に力を入れれば萩になるかもしれない。今後この対応を浜田は早めに示さないと、結果が出る出ないを聞いてからの判断では全然ダメです。今から出張を決めて資源エネルギー庁、経産省、その他関連部署を全部回って、是非頼むと。浜田市はとにかく石見地区一帯で応援するので是非お願いしたいんだという意向をきちんと表示しないと。出なければ駄目だ出たら行くというのでは全く遅いです。今後の対応と計画を聞かせてもらいたいです。

産業経済部長

これについては当初うかがっていた話では、日本海域で可能性のあるものは今までずっと調査されてきて、打率は正直1パーセントくらいなのだと聞きました。その中でこういった調査結果が出て、有望な見通しが今から立つのだろうと思っています。牛尾博美委員がおっしゃったことは本当に大切です。今後こういった方向に進んでこういった所にお話していけるのか、国際石油開発帝石さんとは既にある程度コミュニケーションが取れるので、そういった所もお教えいただきながらどうしていくか検討したいと思います。

牛尾博美委員

今は石油が安いからと日本は油断しているけど、これからはいくらお金を出しても石油が買えないんですよ。今は切羽詰まっていなくても必ずや切羽詰まる。そうなる日本が困ることは目に見えているので、国も絶対に手を打つはず。既に試掘しているなら、お金の問題でなくても浜田は全面的にバックアップをしたいという意向を示す。是非市長や担当部長・課長を含めて意思表示して欲しいと思います。それが港の活性化にもなるし近辺の活性化にも繋がると。いち早くやるのが良いつながりになるのではと思います。成功に導かれるよう頑張ってください。

笹田委員長

頑張ってください。その他何かありますか。

都市計画総括図修正について

これは資料がありませんので口頭でお願いします。建設企画課長。

建設企画課長

都市計画総括の修正について報告させていただきます。資料準備はし

ていないため、口頭で説明させてください。

国土交通省で進めていただいている浜田三隅道路が12月に開通予定ですが、この道路は都市計画道路として都市計画決定をしています。当初は概略設計をもって道路予定区域を都市計画決定していますが、完成により実際の道路区域が確定したため、国土交通省で都市計画道路区域の変更作業を今年度末までに行うこととして作業を進められています。

また既に供用開始されている長沢から原井までの浜田道路区域、浜田港インターチェンジと名称が決まったことによる路線名の変更等の作業も併せて行われます。

また市として城山公園の区域変更も今年中に行うこととしており、浜田都市計画総括図、三隅都市計画総括の修正を行う必要があります。この修正にかかる費用については当初予算化していませんでしたが、都市総括総務費の統合型GIS更新事業の入札残があるので、これを流用して年度末までに修正対応したいと考えていることをご報告させていただきます。

笹田委員長

はい、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

その他、執行部から何かありますか。

(「ありません」という声あり)

はい、ないようなので執行部については終了します。

では今回の件を全員協議会の場でどうするか決定したいと思います。

- (1) 提出なし
- (2) 資料のみ
- (3) 資料のみ
- (4) 資料のみ
- (5) 資料のみ
- (6) 資料のみ
- (7) 資料のみ
- (8) 資料のみ
- (9) 説明あり
- (10) 提出なし
- (11) 掘削調査・・・資料のみ
都市計画総括図修正・・・提出なし

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

はい。以上で議題1は終わりたいと思います。

2. その他

笹田委員長

その他で何かありますか。執行部の皆さん何かありますか。

(「ありません」という声あり)

委員の皆さん何かありますか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

BUY浜田運動について市民から2、3つ問合せがありました。地元ス

一パーでも旗が立っていない所があるけどどうということなのかというご指摘でした。説明が出来れば簡単で構いませんのでよろしくをお願いします。

産業政策課長

BUY浜田運動については、現在協力店さんの募集をしている所です。募集については浜田市役所、商工会議所、商工会で受け付けています。もうしばらくすると受付を締め切り、希望店舗にのぼり旗や啓発ポップ等を配布しようと考えています。

牛尾昭委員

正直、クレームが結構あるんです。昔ながらの所が結構あるので。申請主義なので、血が流れていない行政をやっている気がして非常に残念です。非常に強い口調で複数から指摘を受けていて、俺もボロボロなんです。これ以上言いませんが、もう少し温かい政策を打っていかないと、市民からそっぽを向かれるような市役所になってはいけないと思うんだ。その辺は議員も職員も同じ立場なんだから、私を含めてもう少し地元を大事にする気持ちを持つべきだと思うんで、是非お願いします。

笹田委員長

その他何かありますか。

(「なし」という声あり)

では執行部の皆さんは退席されて結構です、お疲れ様でした。

《 執行部退席 》

その他、委員間で何かありますか。布施委員。

布施委員

開府400年のプレ講演があり、棚倉町や川越から初雁温知会、棚倉町長、議長に来ていただきました。我々、産業建設委員会で行った際にはおもてなしいただき、参加されなかった議員さんもおられますが前日には町長交えて歓迎会をして、当日はプレ講演会をやりました。初雁温知会の方は非常に感謝しておられたことを申し上げておきます。その他の対応については、観光交流課や教育委員会に対応していただきました。これを来年再来年の本番に向けて、産業建設としてまた行く機会があると思うのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

笹田委員長

はいありがとうございました。以上で産業建設調査会を終了いたします。お疲れ様でした。

[14 時 47 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 笹田 卓 印